



ヘルシーヒアリング

ヘルシーヒアリングは耳の健康チェック、聴力検査、衛生教育を行います。外耳道検査、自動聴力検査、中耳機能の検査、純音聴力検査などを行い、耳の衛生管理、聴力損失の程度に応じて助言をしています。全体の2割程度のアスリートに難聴の恐れが指摘されています。

スクリーニング参加数

男性	209名	76.0%
女性	66名	24.0%

スクリーニング結果について

ヘルシーヒアリングの検査を通じて、スペシャルオリンピックスのアスリートの耳の健康状態について以下のことが分かった。

- **87.6%**のアスリートの聞こえ具合が良かった。
- **33.1%**のアスリートは耳垢が溜まっていた。
- **12.4%**のアスリートが純音検査で不合格となり、聴覚検査が必要であると判断された。



スクリーニングの目的:

- ・ 知的障害のある人へ耳の健康・聞こえ方に関する情報を提供し、彼らの健康意識を向上させること。
- ・ 耳の健康状態・聞こえ方に問題があるアスリートを明らかにし、医療機関への受診を勧め、改善に努めること。
- ・ 知的障害のある人の耳の健康状態・聞こえ方について、耳鼻医療従事者の関心を高めること。
- ・ データを収集・分析をすることで、知的障害のある人の耳の衛生環境を明らかにし、改善すること。

担当者の総評:

国内のアスリートは、学校保健安全法による健康診断が行われていることや、国レベルでの医療水準が高いことなどから、聴覚の問題がヘルシーヒアリングで新たに見つかる例は少ないことが特徴です。ただし、卒業後は学校での健康診断がなくなりますので注意が必要です。

また、イヤホンなどで大きな音を聴いてしまうことで聴こえを損なうことも最近は増えています。アスリートは自身で気付けないことがありますので、周囲の皆さまの目配りも大切です。

お問合せ先

竹内 洋彦: ヘルシーヒアリング部門
クリニカルディレクター幹事
E-mail: hrhk.takeuchi@nifty.ne.jp

幡谷 真澄: スペシャルオリンピックス日本 事務局
E-mail: son_program@son.or.jp